

For Earth, For Life  
Kubota

# 連結決算説明 2017年12月期第2四半期累計



(株)クボタ 取締役専務執行役員 企画本部長  
木村 茂

2017年8月9日 (水)



# 2017年12月期第2四半期累計連結決算概要

For Earth, For Life  
Kubota

(億円)	2017年12月期 2Q累計	2016年12月期 2Q累計	増減		直近予想比増減 (2017年5月)		期初予想 (2017年2月)
			金額	%	金額	%	金額
売上高	8,460	7,961	+ 499	+ 6.3	+ 160	+ 1.9	8,400
国内	2,806	2,822	▲ 16	▲ 0.6	+ 66	+ 2.4	2,850
海外	5,654	5,139	+ 514	+ 10.0	+ 94	+ 1.7	5,550
営業利益	11.9% 1,006	13.3% 1,056	▲ 50	▲ 4.7	+ 66	+ 7.0	11.7% 980
当社株主に帰属する 四半期純利益	8.3% 704	7.8% 623	+ 81	+ 13.0	+ 54	+ 8.4	8.0% 670

(億円)	2017年12月期 2Q末	2016年12月期末	増減	
			金額	%
総資産	26,606	26,706	▲ 100	▲ 0.4
株主資本	12,337	11,988	+ 349	+ 2.9

## 事業セグメント別売上高

For Earth, For Life  
Kubota

(億円)	2017年12月期 2Q累計	2016年12月期 2Q累計	増減	
			金額	%
<b>機械</b>	<b>6,924</b>	<b>6,314</b>	<b>+ 611</b>	<b>+ 9.7</b>
国内	1,471	1,434	+ 37	+ 2.6
海外	5,453	4,880	+ 573	+ 11.7
<b>水・環境</b>	<b>1,387</b>	<b>1,499</b>	<b>▲ 112</b>	<b>▲ 7.5</b>
国内	1,188	1,241	▲ 53	▲ 4.3
海外	199	257	▲ 59	▲ 22.8
<b>その他</b>	<b>149</b>	<b>149</b>	<b>▲ 0</b>	<b>▲ 0.2</b>
国内	147	147	▲ 0	▲ 0.0
海外	2	2	▲ 0	▲ 11.6
<b>売上高合計</b>	<b>8,460</b>	<b>7,961</b>	<b>+ 499</b>	<b>+ 6.3</b>

<b>国内売上高</b>	<b>2,806</b>	<b>2,822</b>	<b>▲ 16</b>	<b>▲ 0.6</b>
<b>海外売上高</b>	<b>5,654</b>	<b>5,139</b>	<b>+ 514</b>	<b>+ 10.0</b>

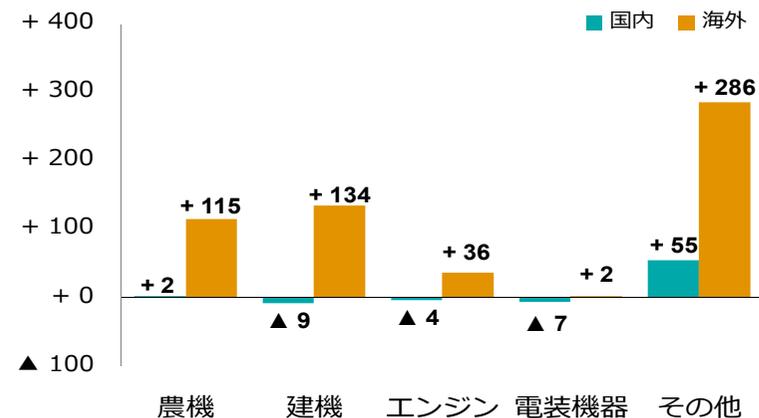
為替の影響（▲60億円）およびグレートプレーンズ社取得の影響（+180億円）を除くと、機械海外は+9%の増。海外売上全体は+8%の増

## ● 機械 +611億円（国内：+37 海外：+573）

**国内** ・ 大型建機への投資優先等の影響で建機が減少するも、農業関連商品の増加で補う

**海外** ・ トラクタは北米が小型増も、中型減で前年並みに留まるも、取水制限の解除によるタイの回復により増  
 ・ 作業機は中国での田植機拡販により増  
 ・ 建機は北米、欧州、中国などの各地域で好調に推移

■ 機械売上増減の内訳（億円）



## ● 水・環境 ▲112億円（国内：▲53 海外：▲59）

**国内** パイプは鉄管や工事が減。水処理も減。一方で、土木工事用鋼管（杭）は増

**海外** 中東向けの鉄管を中心にパイプが大幅減。石油化学プラント向け反応管も減

(億円)	2017年12月期 2Q累計		2016年12月期 2Q累計		増減	
	金額	%	金額	%	金額	%
営業利益	1,006	11.9	1,056	13.3	▲ 50	▲ 4.7

## 営業利益（▲50億円）の増減要因

<b>1.為替変動</b>	米ドル(112円→112円) ユーロ(125円→122円) 他	▲60億円 ▲30億円 ▲10億円	} ▲100億円
<b>2.原材料</b>	機械（買入部品・CD） 水・環境（鉄スクラップ 他）	▲10億円 ▲10億円	
<b>3.インセンティブ率上昇</b>	米国▲56億円 中国+48億円 他		▲11億円
<b>4.人件費増減 (GP社含まず)</b>	売上原価 販管費	+12億円 ▲19億円	} ▲7億円
<b>5.特殊要因</b>	減価償却方法の変更（定率法→定額法） GP社 評価差額の償却	+5億円 ▲14億円	
<b>6.増販益</b>			+ 160億円
<b>7.その他</b>			▲63億円

# 1Qと2Qの営業利益増減の変動について

## (1) インセンティブ率の上昇による営業利益への影響

(億円)	1Q	2Q	2Q累計
インセンティブ率の上昇による営業利益への影響	▲ 60	+ 49	▲ 11
上記の内、米国の影響	▲ 80	+ 24	▲ 56
米国での引当金洗い替え額の前年比増減 (▲は費用増)	▲ 58	+ 42	▲ 16

## (2) 販社在庫の未実現利益調整による営業利益への影響

(億円)	1Q	2Q	2Q累計	3Q	3Q累計	4Q	年間計
利益率変動	+ 26	+ 26	+ 52	+ 41	+ 93	▲ 34	+ 59
在庫増減	▲ 23	+ 13	▲ 10	▲ 0	▲ 11	+ 34	+ 24
<b>2016年未実現利益調整額</b>	<b>+ 3</b>	<b>+ 39</b>	<b>+ 42</b>	<b>+ 41</b>	<b>+ 83</b>	<b>▲ 0</b>	<b>+ 83</b>
利益率変動	▲ 107	+ 10	▲ 98				
在庫増減	▲ 38	+ 20	▲ 18				
<b>2017年未実現利益調整額</b>	<b>▲ 145</b>	<b>+ 30</b>	<b>▲ 115</b>				
利益率変動	(*) ▲ 134	▲ 16	(*) ▲ 150				
在庫増減	▲ 15	+ 8	▲ 7				
<b>前年比増減</b>	<b>▲ 149</b>	<b>▲ 9</b>	<b>▲ 158</b>				

\* 2016年下期は前年同期比で、米ドルが16円、ユーロが18円の円高。  
 本体利益率変動には、前期末の未実現利益調整によって当期に持ち越された▲80億円程度の円高影響が含まれる

## ■ 特殊要因を除いた営業利益

(左肩は利益率)

(億円)	2017年12月期2Q累計			2016年12月期2Q累計			実績 営業利益 増減 ①-④	修正後 営業利益 増減 ③-⑥	売上高 増減
	実績 ①	特殊要因 ②	修正後 営業利益 ③=①-②	実績 ④	特殊要因 ⑤	修正後 営業利益 ⑥=④-⑤			
機械	13.9% 966	▲ 9	14.1% 975	16.1% 1,014	-	16.1% 1,014	▲ 49	▲ 40	+ 611
水・環境	11.7% 162	2	11.6% 161	9.1% 137	-	9.1% 137	+ 26	+ 24	▲ 112
その他	10.6% 16	-	10.6% 16	12.5% 19	-	12.5% 19	▲ 3	▲ 3	▲ 0
全社/消去	▲ 138	▲ 2	▲ 136	▲ 114	-	▲ 114	▲ 24	▲ 22	
計	11.9% 1,006	▲ 9	12.0% 1,015	13.3% 1,056	-	13.3% 1,056	▲ 50	▲ 41	+ 499

## その他の収益（▲費用）

(億円)	2017年12月期 2Q累計	2016年12月期 2Q累計	増減
			金額
その他の収益（▲費用）	70	▲ 85	+ 155



### (内訳)

金融収支	34	29	+ 4
有価証券売却損益	54	9	+ 45
為替差損益	33	▲ 96	+ 129
その他	▲ 51	▲ 28	▲ 23
デリバティブ評価損益	▲ 49	▲ 27	▲ 22
その他雑損益	▲ 2	▲ 0	▲ 1

+107

## 税金等調整前純利益・純利益

(億円)	2017年12月期 2Q累計		2016年12月期 2Q累計		増減	
	金額	%	金額	%	金額	%
税金等調整前 四半期純利益	1,076	12.7	971	12.2	+ 105	+ 10.8
法人所得税 (実効税率)	334 (31.0%)		307 (31.6%)		▲ 27	
持分法による投資損益	8		8		+ 1	
四半期純利益	751	8.9	671	8.4	+ 79	+ 11.8
非支配持分帰属損益 (控除)	46		48		+ 2	
当社株主に帰属する 四半期純利益	704	8.3	623	7.8	+ 81	+ 13.0

(円)		2017年12月期	2016年12月期	増減
1株当り配当	(中間)	15 円	14 円	+ 1 円
	(期末)	(未定)	16 円	-
	(通期)	(未定)	30 円	-

配当性向：目標30%・総還元性向：30%超

上限100億円(取得期間：2017年5月11日～12月20日)の自己株式取得枠を設定

# 貸借対照表（資産）

（億円）	2017年12月期 2Q末	2016年12月期末	増減	為替を除く 増減
<b>流動資産</b>	<b>15,010</b>	<b>15,631</b>	<b>▲ 620</b>	
現金及び預金	1,908	1,694	+ 213	
受取債権	5,977	6,328	▲ 351	<b>▲ 290</b>
短期金融債権	2,460	2,442	+ 18	
たな卸資産	3,674	3,562	+ 112	<b>+ 130</b>
その他の流動資産	991	1,605	▲ 613	
<b>投資及び長期金融債権</b>	<b>6,996</b>	<b>6,775</b>	<b>+ 221</b>	
長期金融債権	5,327	5,083	+ 244	
その他	1,670	1,692	▲ 22	
<b>有形固定資産</b>	<b>3,122</b>	<b>3,142</b>	<b>▲ 21</b>	
その他	1,478	1,158	+ 320	
<b>資産合計</b>	<b>26,606</b>	<b>26,706</b>	<b>▲ 100</b>	
<b>金融債権 計</b>	<b>7,786</b>	<b>7,525</b>	<b>+ 262</b>	<b>+ 420</b>

<ご参考> 海外子会社期末日レート

	(円)		
米ドル	112	116	▲ 4
ユーロ	128	123	+ 5

# 貸借対照表（負債）

(億円)	2017年12月期 2Q末	2016年12月期末	増減
<b>流動負債</b>	<b>8,124</b>	<b>8,366</b>	<b>▲ 243</b>
短期借入金	1,932	1,939	▲ 7
営業支払債務	2,465	2,559	▲ 94
一年内長期債務	1,323	1,452	▲ 129
その他（短期）	2,404	2,417	▲ 12
<b>固定負債</b>	<b>5,381</b>	<b>5,620</b>	<b>▲ 239</b>
長期債務	4,712	4,789	▲ 77
未払年金等	124	121	+ 3
その他（長期）	546	711	▲ 164
<b>負債合計</b>	<b>13,505</b>	<b>13,987</b>	<b>▲ 482</b>
<b>有利子負債</b>	<b>7,967</b>	<b>8,180</b>	<b>▲ 213</b>
<b>DEレシオ（ネット）</b>	<b>0.49</b>	<b>0.54</b>	<b>▲ 0.05</b>
<b>金融を除くDEレシオ（ネット）</b>	<b>▲ 0.10</b>	<b>▲ 0.06</b>	<b>▲ 0.04</b>

為替を除く  
増減

▲ 90

# 貸借対照表（純資産）

（億円）	2017年12月期 2Q末	2016年12月期末	増減
<b>株主資本</b>	<b>12,337</b>	<b>11,988</b>	<b>+ 349</b>
<b>資本金</b>	<b>841</b>	<b>841</b>	<b>+ 0</b>
<b>資本剰余金</b>	<b>850</b>	<b>846</b>	<b>+ 4</b>
<b>利益準備金</b>	<b>195</b>	<b>195</b>	<b>-</b>
<b>その他の剰余金</b>	<b>10,120</b>	<b>9,614</b>	<b>+ 506</b>
<b>その他の包括損益累計額</b>	<b>394</b>	<b>493</b>	<b>▲ 99</b>
<b>外貨換算調整勘定</b>	<b>147</b>	<b>260</b>	<b>▲ 113</b>
<b>有価証券未実現損益</b>	<b>504</b>	<b>496</b>	<b>+ 8</b>
<b>年金負債調整額</b>	<b>▲ 257</b>	<b>▲ 262</b>	<b>+ 5</b>
<b>自己株式</b>	<b>▲ 64</b>	<b>▲ 2</b>	<b>▲ 62</b>
<b>非支配持分</b>	<b>765</b>	<b>732</b>	<b>+ 33</b>
<b>純資産合計</b>	<b>13,101</b>	<b>12,719</b>	<b>+ 382</b>
<b>株主資本比率</b>	<b>46.4%</b>	<b>44.9%</b>	<b>+ 1.5P</b>

# キャッシュ・フロー計算書

For Earth, For Life  


(億円)	2017年12月期 2Q累計	2016年12月期 2Q累計	増減
営業活動による純キャッシュ・フロー	1,048	927	+ 121
投資活動による純キャッシュ・フロー	▲ 486	▲ 661	+ 176
固定資産の購入	▲ 297	▲ 240	▲ 57
その他	▲ 189	▲ 422	+ 233
財務活動による純キャッシュ・フロー	▲ 339	183	▲ 522
為替変動による現金及び現金同等物への影響	▲ 10	▲ 143	+ 133
現金及び現金同等物の増減額	213	307	▲ 93
フリーキャッシュ・フロー	751	688	+ 63

# 金融事業の状況 <ご参考（非監査）>

## 貸借対照表

(億円)	2017年12月期2Q末		2016年12月期末	
	金融事業	金融事業を除く ベース	金融事業	金融事業を除く ベース
<b>資産合計</b>	<b>9,571</b>	<b>17,737</b>	<b>9,385</b>	<b>18,097</b>
現金及び預金	120	1,788	125	1,569
受取債権	338	5,653	298	6,037
金融債権	7,786	-	7,525	-
たな卸資産	-	3,674	-	3,562
有形固定資産	4	3,117	4	3,138
その他の資産	1,322	3,505	1,433	3,790
<b>負債合計</b>	<b>8,243</b>	<b>5,808</b>	<b>8,124</b>	<b>6,484</b>
有利子負債	7,476	681	7,447	932
その他の負債	767	5,127	677	5,552
<b>純資産合計</b>	<b>1,328</b>	<b>11,929</b>	<b>1,261</b>	<b>11,613</b>

## 損益計算書（金融事業）

(億円)	2017年12月期 2Q累計		2016年12月期 2Q累計		増減	
	金額	%	金額	%	金額	%
売上高	283		252		+ 32	+12.6
営業利益	120	42.5	105	41.6	+ 16	+15.0
当社株主に帰属する 四半期純利益	72	25.4	63	24.9	+ 9	+14.9

# 機械事業の動向

## 米国

底堅い景気や住宅市場を背景に小型トラクタや建機の需要増。  
農業市場向けの落ち込み幅は縮小。厳しい競争環境は継続

### トラクタ/小売

小型は市場の伸びに加え、販売促進策が奏効し大幅増。  
中型は厳しい市場環境が続くも、シェアアップにより増

### 建機/小売

高水準な建設需要を背景にMBとCTLが増。農業市場低迷の影響はあるも、  
前期に在庫充当を終えたSSLも大幅増

### エンジン/卸売

堅調な建産機需要を背景に増

#### ■ トラクタ市場小売台数伸長率（前年同期比）

		1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-6月	1-12月
2016年	0-40馬力	+ 26.1%	+ 7.1%	+ 9.6%	+ 14.0%	+ 12.7%	+ 12.1%
	40-120馬力	▲ 0.7%	▲ 4.3%	▲ 10.6%	▲ 2.5%	▲ 2.9%	▲ 4.9%
	0-120馬力	+ 14.9%	+ 3.5%	+ 2.3%	+ 7.4%	+ 7.3%	+ 6.0%
2017年	0-40馬力	+ 13.7%	+ 11.2%	-	-	+ 12.0%	-
	40-120馬力	▲ 4.0%	▲ 1.4%	-	-	▲ 2.5%	-
	0-120馬力	+ 7.3%	+ 7.7%	-	-	+ 7.5%	-

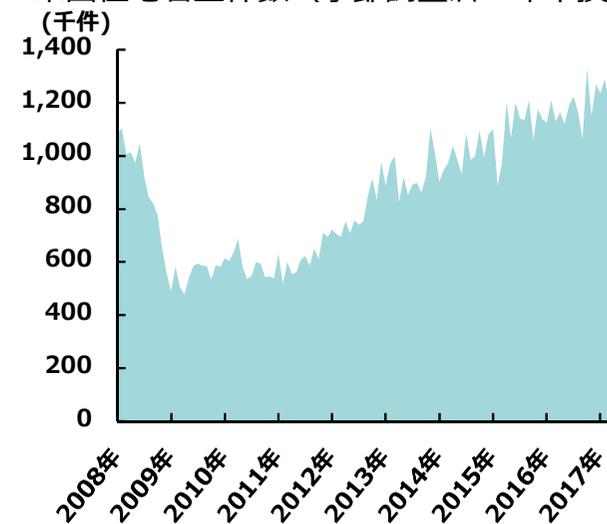
出展：AEM（Association of Equipment Manufacturers）

#### ■ 0-8tバックホー市場小売台数伸長率（前年同期比）

		1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-6月	1-12月
2016年		+ 27.6%	+ 13.0%	+ 8.9%	+ 6.2%	+ 18.4%	+ 12.7%
2017年		+ 12.2%	+ 12.4%	-	-	+ 12.3%	-

出展：AEM（Association of Equipment Manufacturers）

#### ■ 米国住宅着工件数（季節調整済・年率換算） （千件）



出展：米国国勢調査局（U.S. Census Bureau）

### 欧州

景気回復や住宅・インフラなどの工事需要拡大を背景に、建機、エンジンの需要は堅調。農用市場は依然低調だが、農産物価格の底打ちにより徐々に回復の兆し

### トラクタ/小売

一部機種 of 欧州トラクタ新法規制の認証遅れの影響やフランスでの凶作などにより減。  
トルコは政情不安や輸入税率引き上げの影響により横ばい

### インプラメント/卸売

需要の底打ちや新製品投入効果により増。受注は大幅増

### 建機/小売

フランスは投資促進法終了前の仮需などにより増。  
ドイツは建設・工事需要の増加により堅調に推移。  
イギリスは先行き不透明感はあるも、レンタル業者の旺盛な投資が持続

### エンジン/卸売

建設市場を中心とした良好な景況感を背景に増

### 2017年7月、オランダに欧州の機械事業統括会社を設立(10月稼働予定)

⇒事業運営を国別から事業別へと転換し、欧州内での各事業の最適運営を目指す

## タイ

米価低迷の影響はあるも、取水制限の解除などにより稲作向けの需要は回復。周辺国では農産物価格低迷により買い控えが発生。米価は足下で回復の兆し

## トラクタ・コンバイン 小売

稲作向けトラクタは米価低迷や一部地域での洪水の影響はあるも、取水制限の解除により増。畑作向けはキャッサバ向けが低迷するも、シュガーケーン向けが増。コンバインは米価低迷により減

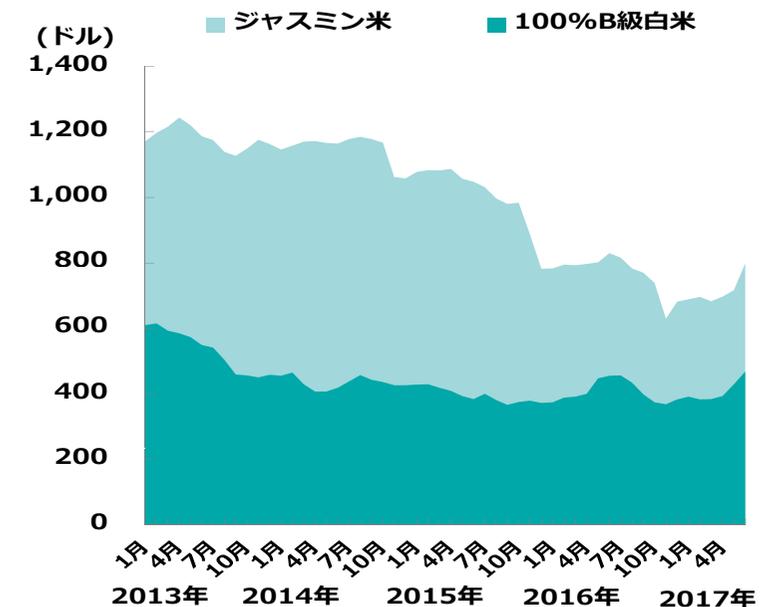
## 建機/小売

都市部での建設需要拡大により増

## 周辺国/卸売

カンボジア、ラオスは、農産物価格低迷の影響により減。  
販売会社を設立したミャンマーは、人手不足により機械化が進展し、トラクタが増

■ タイ米輸出価格推移 ドル/トン



出典：米国農務省、タイ米輸出協会

## 中国

**中央政府農機購入補助金は約2割減。請負業者間の競争激化もあり、さらなる効率化を求めて高処理量機へと需要が移行。都市インフラ投資の拡大により建機需要は回復**

### トラクタ/小売

高馬力帯への需要移行により、70-99馬力帯の市場は縮小するも、シェアアップにより増

### コンバイン/小売

補助金減額や賃刈業者間の競争激化に伴う高処理量機への需要移行により、低馬力機が減。ホイールコンバインは市場での排ガス2次規制機の中古機在庫増の影響などにより伸びは限定的

### 田植機/小売

前年のエンジン排ガス認証遅れによる買い控え客の購入、コーンから水稲への転作進展、更新需要の拡大などにより大幅増

### 建機/小売

都市インフラ投資の拡大による需要増や、前年のエンジン排ガス認証遅れによる販売減の反動により大幅増

### エンジン/卸売

建機需要の急回復により大幅増

#### ■ 中国 中央政府農機購入補助金推移

		2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年*
補助金(億元)	第1次	-	-	-	-	110	130	200	170	210	228	186
	年間計	20	40	130	155	175	215	218	238	238	237	186

\* 2017年補助金額は確定前の予想値

## 日本

農機、建機ともに2015年のエンジン排ガス規制強化後の販売低迷が長引くも、徐々に回復の兆し。  
トラクタ需要は前年を超過

### 農機/小売

トラクタはエンジン排ガス規制強化後の販売低迷からの回復により増。コンバインは前年のアグリシーDRリースによる販売や排ガス旧機種への作り溜め機拡販の反動により減。インプラメントなどの農業関連商品の売上が増

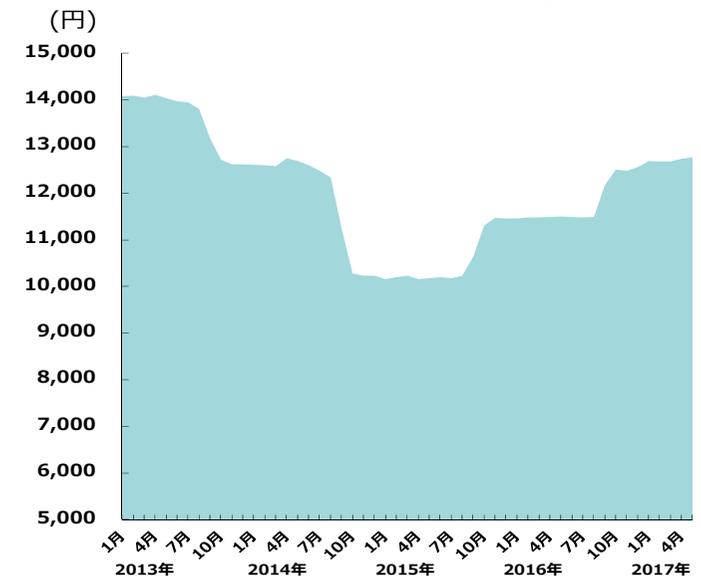
### 建機/小売

75馬力以上のエンジン排ガス規制強化を控え、レンタル会社の大型建機優先の動きにより減。東京オリンピック関連のインフラ投資増による回復を見込む

### エンジン/卸売

OEM先の生産調整・販売不振（新興国向け発電機）の影響により減

■ 日本米の生産者価格推移 円/60kg



出典：農林水産省「農業物価統計調査」

# 業績予想

## 2017年12月期業績予想

For Earth, For Life  


(億円)	2017年12月期 (予想)	2016年12月期 (実績)	増減		2017年12月期 (直近予想-5月)
			金額	%	
売上高	16,800	15,961	+ 839	+ 5.3	16,800
国内	5,620	5,514	+ 106	+ 1.9	5,620
海外	11,180	10,447	+ 733	+ 7.0	11,180
営業利益	11.8% 1,980	11.8% 1,888	+ 92	+ 4.9	11.8% 1,980
その他の収益 (▲費用)	70	82	▲ 12	▲ 14.6	70
税金等調整前 当期純利益	12.2% 2,050	12.3% 1,970	+ 80	+ 4.1	12.2% 2,050
当社株主に帰属する 当期純利益	8.2% 1,380	8.3% 1,325	+ 55	+ 4.2	8.2% 1,380

# 事業セグメント別売上高予想

(億円)	2017年12月期 (予想)	2016年12月期 (実績)	増減		2017年12月期 (直近予想-5月)	増減	
			金額	%		金額	%
機械	13,570	12,722	+ 848	+ 6.7	13,570	-	-
国内	2,880	2,815	+ 65	+ 2.3	2,880	-	-
海外	10,690	9,907	+ 783	+ 7.9	10,690	-	-
水・環境	2,930	2,945	▲ 15	▲ 0.5	2,930	-	-
国内	2,440	2,408	+ 32	+ 1.3	2,440	-	-
海外	490	537	▲ 47	▲ 8.8	490	-	-
その他	300	294	+ 6	+ 2.0	300	-	-
国内	300	291	+ 9	+ 3.1	300	-	-
海外	-	3	▲ 3	▲ 100.0	-	-	-
売上高合計	16,800	15,961	+ 839	+ 5.3	16,800	-	-
国内売上高	5,620	5,514	+ 106	+ 1.9	5,620	-	-
海外売上高	11,180	10,447	+ 733	+ 7.0	11,180	-	-

為替の影響(▲80億円) およびグレートプレーンズ社取得の影響 (+210億円) を除くと、機械海外は+7%の増。海外売上全体は+6%の増

(億円)	2017年12月期 (予想)		2016年12月期 (実績)		増減	
	金額	%	金額	%	金額	%
営業利益	1,980	11.8	1,888	11.8	+ 92	+ 4.9

## 営業利益 (+92億円) の増減要因

<b>1. 為替変動</b>	米ドル(109円→110円) ユーロ(120円→119円) 他	▲10億円 ▲30億円 ▲30億円	}	<b>▲70億円</b>
<b>2. 原材料</b>	機械(買入部品・CD) 水・環境(鉄スクラップ 他)	▲20億円 ▲40億円		
<b>3. インセンティブ率上昇</b>	米国▲30億円 中国+25億円 他			<b>▲15億円</b>
<b>4. 人件費増減 (GP社含まず)</b>	売上原価 販管費	+15億円 ▲40億円	}	<b>▲25億円</b>
<b>5. 特殊要因</b>	減価償却方法の変更(定率法→定額法) GP社 評価差額の償却	+10億円 ▲9億円		
<b>6. 増販益</b>				<b>+260億円</b>
<b>7. その他</b>				<b>+1億円</b>

## ■ 特殊要因を除いた営業利益

(左肩は利益率)

(億円)	2017年12月期 (予想)			2016年12月期 (実績)			予想 営業利益 増減 ①-④	修正後 営業利益 増減 ③-⑥	売上高 増減
	予想 ①	特殊要因 ②	修正後 営業利益 ③=①-②	実績 ④	特殊要因 ⑤	修正後 営業利益 ⑥=④-⑤			
機械	14.6% 1,980	▲ 12	14.7% 1,992	14.5% 1,850	▲ 13	14.6% 1,863	+ 130	+ 129	+ 848
水・環境	7.5% 220	3	7.4% 217	7.5% 222	-	7.5% 222	▲ 2	▲ 5	▲ 15
その他	10.0% 30	-	10.0% 30	12.3% 36	-	12.3% 36	▲ 6	▲ 6	+ 6
全社/消去	▲ 250	▲ 3	▲ 247	▲ 220	-	▲ 220	▲ 30	▲ 27	
計	11.8% 1,980	▲ 12	11.9% 1,992	11.8% 1,888	▲ 13	11.9% 1,901	+ 92	+ 91	+ 839

## ■ 為替レート

		2017年12月期		2016年12月期	
		(今回見直し)	(直近予想)	(実績)	前年 同一期間
円/米ドル	上期(1~6月)	<b>112</b>	111	<b>112</b>	120
	下期(7~12月)	<b>108</b>	109	<b>106</b>	122
	年間(1~12月)	<b>110</b>	110	<b>109</b>	121
円/ユーロ	上期(1~6月)	<b>122</b>	119	<b>125</b>	134
	下期(7~12月)	<b>115</b>	111	<b>116</b>	134
	年間(1~12月)	<b>119</b>	115	<b>120</b>	134

## ■ 設備投資・減価償却費・研究開発費

(億円)

設備投資	<b>650</b>	700	<b>654</b>	539
減価償却費	<b>480</b>	490	<b>434</b>	414
研究開発費	<b>460</b>	460	<b>430</b>	394

本資料で記述されている業績予想ならびに将来予測は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、様々な要因の変化により、実際の業績は記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。



**For Earth, For Life**  
**Kubota**

地球の未来へ贈るもの。

ご清聴ありがとうございました。